

令和6年度 板橋区立志村第二中学校 授業改善推進プラン

教科名

英語

	学力調査・体力調査・定期考査等の分析	指導方法の課題	授業革新に向けての具体的な手立て
7 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で慣れ親しんでいるので、やり取りに意欲的に取り組む。 ・単語や文を聞いて理解することができる。 ・単語を知っていても、スペルと結びつかない。 ・小学校の既習単語や文法、文章を表現することが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の考えを聞いて自分の考えを伝えるやり取りが必要である。 ・まとまりのある英文を聞いて、概要や要点を捉えることが必要である。 ・教科書をスムーズに音読することが必要である。 ・基本的な語彙、文法を活用し自己表現することが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャットのやり取りを行い、他人の意見を聞いて自分の考えを伝える。 ・デジタル教科書を使用し、概要や要点を聞き取る練習をさせたり、単語や文の音読を反復練習をさせたりする。 ・教科書を読めるか確認するために、音読課題を出す。 ・語彙や文法を練習させ、自己表現させる。
8 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・読むこと、話すことを中心とした授業でやりとりができる。 ・語句を覚えて使ったり、文を書いて表現したりすることが苦手である。 ・新出単語を覚えられない。 ・自分の考えを英文で書いて表現することに自信がない生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかる英語」から「使える英語」に練習させる。 ・基本的な単語や語句及び基本文を書けるまで練習させる。 ・新しい表現を使い、自己表現をする機会を増やす必要がある。 ・教科書をスムーズに読めることが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読む・話すだけでなく、書かせる場面を取り入れる。 ・基本文テスト、スペリングテストを実施する。 ・自己表現文を单元ごとに書かせ、チェックする。 ・デジタル教科書を使用し、単語や文の音読を反復練習させる。 ・音読課題を出す。
9 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・発話に関して意欲的に参加する姿勢がある。 ・音読について音のつながりを意識して読むことが苦手である。 ・長文を読んで理解することに時間がかかる。 ・どの文法を使って表現するのか判断ができない。主語、動詞がないなど、文法の基本が身に付いていない生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発話する意欲があるが、どんな文法や語句を使用するのか理解できないことが多い。 ・音読において音のつながりに注意した練習が必要である。 ・長文を見ただけで圧倒され、読み取り方法や内容に関する質問に答えられない。 ・自己表現をするときにどんな文法や語彙を使えばよいかわからない生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲を失わず、様々な表現パターンをインプットする。 ・英語の歌や音読練習において、音のつながりのポイントを指摘し、デジタル教科書などを利用して練習する。 ・長文の内容を段落ごとに読み、推測する訓練をする。教科書以外の長文も使って、読み取り練習をする。